

公共事業費削減と戦う 藤井聡教授の活動を通じて



公共事業費は本年度（23年度）も削減されました。昨年度も一般会計ベースで18.3%削減されて、引続き削減されたこととなります。まるで底なし沼のようです。

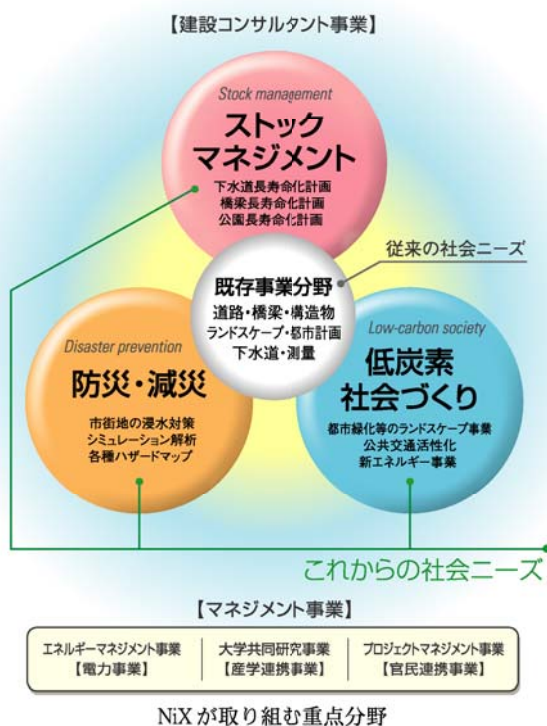
しかしながら、このような状況に負けること無く、公共事業に関わる負のイメージを払拭する、そして業界全体の活気を少しでも取り戻すために、頑張っている先生がいます。大学の同胞でもある京都大学の藤井聡教授です。氏の活動はできる限り応援させていただいており、昨年度も富山県に何度も来ていただき、各団体において公共事業に関するご講演をいただきました。また著書「公共事業が日本を救う」は、この種の本に関しては異例とも言える数万部が売れ、富山県においても建設業協会様をはじめ様々な関係者に読まれたものと思われまます。また3月の参議院予算委員会の公聴会でも公述人として公共事業の必要性について熱弁をふるわれ、その熱弁は会場にいる国会議員から拍手喝采を浴びたとともに、当日以降のインターネット上では各方面に「日本の救世主現れる」との表現で掲載されました。このような地道な活動がいつの日か一般の方々の目にも留まり、公共事業に対する正しい認識につながるのではないかと、少しばかり救われるような気持ちになる今日この頃です。

一方で我々もそのような役割を氏にお任せしているだけではなく、自ら声を上げていくことも必要であり、公共事業に携わる者としての責務であると考えています。昨年度より私自身も、少ないながら講演講師の機会を通じて、公共事業に対する正しい認識について訴えてきました。本年度も講演講師や大学での講義の機会をいくつかいただいておりますので、大変微力ながら引き続き訴えていきたいと思ひます。

なお、藤井聡教授は東日本大震災を受け、この5月に東日本の「ふるさと再生」そして「日本の復活」について語った新たな著書「列島強靱化論-日本復活5カ年計画」を出版されました。本書の印税は文藝春秋を通じて全て震災復興へと役立てることになっております。皆様には今回のレポートとあわせてご案内させていただきます。



列島強靱化論
藤井聡著



さて、昨年はじめてNiXテクニカルレポートを発売させていただきました、今回が無事2年目（2冊目）となります。2冊目を発売できることに際し、お世話になっている発注者の皆様にはあらためて御礼申し上げます。本書の技術報告も、皆様からいただいたお仕事の中で得られた経験であります。微力ながら、技術的なご報告をさせていただくことで、機会を与えていただいた恩返しの一部になればと思ひます。地域の「理想の技術者」集団でありたい・・・、その思いを胸に、これからも皆様のお役に立てるよう努力いたします。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成23年6月

(株)新日本コンサルタント 代表取締役社長

市森 友明